社会福祉法人普仁会

令和 2 年度・事 業 計 画

（　目　次　）

１　令和２年度・法人運営　・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ1

２　令和２年度・法人の主な取組み　・・・・・・・・・　Ｐ2～3

３　令和２年度・経営管理　・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ3

４　令和２年度・施設の運営計画等　・・・・・・・・　Ｐ4～18

Ⅰ　養護老人ホーム　普仁園（特定施設普仁園）
養護老人ホーム普仁園短期入所生活介護施設　（Ｐ4～6）

Ⅱ　特別養護老人ホーム　愛仁園
（併設・短期入所生活介護施設）　（Ｐ7～9）

Ⅲ　デイサービスセンター　愛仁園　（Ｐ10～11）

Ⅳ　地域密着型介護老人福祉施設
あいじえん西帯広　（Ｐ12～13）

Ⅴ　小規模多機能型居宅介護　あもる　（Ｐ14～15）

Ⅵ　居宅介護支援事業所　愛仁園　（Ｐ16）

Ⅶ　地域包括支援センター　愛仁園
（介護予防支援事業所愛仁園）　（Ｐ17～18）

（資料）

○　令和２年度・職員配置計画表　・・・・・・・・　Ｐ19

○　社会福祉法人普仁会・組織図　・・・・・・・・　Ｐ20

基　本　理　念

私たちは　人権の尊重を基盤に常に反省し

自らの知性を高め　親切と相互理解に努め

その人の生活を守るため　誠と仁愛の心を

もって支援し　普く地域に信頼され

開かれた施設つくりをすすめます

法人の事業概要

１　第一種社会福祉事業

（ア）養護老人ホームの経営
（イ）特別養護老人ホームの経営

２　第二種社会福祉事業

（ア）老人短期入所事業の経営
（イ）老人デイサービス事業の経営
（ウ）小規模多機能型居宅介護事業の経営

３　公益を目的とする事業

（ア）居宅介護支援事業
（イ）地域包括支援センター事業

令和２年度社会福祉法人普仁会・事業計画

１　令和２年度・法人運営

（１）適正かつ効果的な事業の推進と健全な施設運営

①　第１種社会福祉事業（施設サービス）

○　養護老人ホーム　普仁園（特定施設普仁園）
○　特別養護老人ホーム　愛仁園
○　地域密着型介護老人福祉施設　あいじえん西帯広

②　第２種社会福祉事業（居宅サービス）

○　養護老人ホーム普仁園　短期入所生活介護施設
○　特別養護老人ホーム愛仁園　短期入所生活介護施設（特養併設）
○　デイサービスセンター　愛仁園
○　小規模多機能型居宅介護　あもる

③　公益を目的とする事業

○　居宅介護支援事業所　愛仁園
○　地域包括支援センター　愛仁園（介護予防支援事業所併設）

（２）理事会・評議員会及び監査によるガバナンスの強化・透明性の推進

①　理事会の開催（理事長・常務理事の職務執行状況報告・４ヶ月を超える間隔で２回以上）

○　第１回目（6 月）　～　決算・事業報告・定時評議員会議案等
○　第２回目（10 月）　～　業務執行状況報告・資金収支状況等
○　第３回目（3 月）　～　業務執行状況報告・資金収支状況・新年度予算・事業計画等

②　評議員会の開催（定時評議員会のほか必要に応じ開催）

○　定時評議員会（6 月）　～　決算に係る計算書等の承認・前年度事業報告
○　第２回目（12 月）　～　上期の事業報告等
○　第３回目（3 月）　～　新年度予算・事業計画等の説明

③　監事による監査の実施（決算監査及び定期監査のほか必要に応じ実施）

○　決算監査（5 月）　～　前年度事業報告・財産目録・貸借対照表・収支計算書等
○　定期監査（8 月）　～　業務執行状況・第１四半期資金収支状況等
○　定期監査（11 月）～　業務執行状況・第２四半期資金収支状況等
○　定期監査（2 月）　～　業務執行状況・第３四半期資金収支状況等

２　令和２年度・法人の主な取組み

（１）人材の確保・育成及び職員の処遇改善等の推進

①　人材の確保・育成等

○　新卒者等の正職員採用　～　継続（全職種の常勤職員）
○　費用対効果を考慮した求人募集　～　継続（ハローワーク・ウエブサイト・紹介会社等）
○　職員助成制度の実施　～　継続（資格取得助成・再就職手当・職員紹介手当）

○　奨学金給付制度の実施　～　継続（介護等福祉系大学・短大・専門学校への進学希望者）
○　各種研修等の参加　　～　継続（職員の計画的な参加促進）

②　処遇改善

○　定期昇給の実施　　～　継続（職員給与規程に基づく昇給）
○　処遇改善手当の支給　～　継続（介護職員処遇改善手当・特定処遇改善手当）

③　労働環境・安全衛生等

○　職員健康診断の実施　　～　継続（全職員１回・常勤介護職員２回）
○　ストレスチェックの実施　～　継続（全職員１回）
○　業務の省力化等　　～　検討（ロボットやＩＣＴの導入活用等）
○　感染症対策の実施 ～ 迅速な対応継続（ノロウイルス・インフルエンザ・新型コロナ等）

（２）災害時等における対応・強化の推進

①　非常用自家発電機の稼働訓練

○　非常用自家発電機（R1 年度設置）による停電時稼働訓練の実施　～　新規（年１回）

②　避難訓練等

○　火災等の避難訓練及び夜間非常招集訓練の実施　～　継続（避難２回・招集１回）

（３）地域における公益的な取組みの推進

①　低所得者に対する法人の軽減負担

○　低所得者に対する介護保険サービス利用者負担額軽減制度事業の実施　～　継続

②　地域貢献活動等

○　近隣町内及び施設周辺清掃活動の実施　～　継続（春秋・２回）
○　夏祭り（花火大会・盆踊り・屋台・子供縁日）の実施　　～　継続（夏・１回）
○　あいじえん西帯広近隣町内高齢者等買物送迎支援の実施　～　継続（月１回程度）
○　あいじえん西帯広近隣町内会合同夏祭りの実施　　～　継続（夏・１回）
○　地域包括支援センター愛仁園（西）地域交流室の開放　　～　継続（随時）
○　なんもなんもカフェ（認知症カフェ）の実施　～　継続（本体・西帯広／毎月１回）
○　帯広市子供 110 番の家登録　～　継続（帯広市登録）

③　学習支援事業

○　学習支援「ふじ小屋」の開設　～　継続（夏・冬休み期間・第８中学校 1～3 年生）
○　インターンシップの受入　　～　継続（中学生・高校生）

④　介護普及事業

○　職員による福祉体験等に関する出前授業の実施　～　継続（中学校・高等学校）

（４）安心安全な食事の提供と円滑な給食業務の推進

①　給食業務の委託

○　委託業務・委託先の継続　～　（株）エムズフード（本社・札幌　H28 年 8 月開始）

②　給食の提供

○　普仁園・愛仁園・あいじえん西帯広・あもる　～　朝食・昼食・夕食・行事食等
○　デイサービス　～　昼食・行事食等

3　令和 2 年度・経営管理

（1）安定的で健全な経営の推進

①　資金収支予算

○　事業の推進に向けた収入の確保
・介護保険事業収入　～　稼働率・利用見込・処遇改善加算等の取得を勘案し計上
H30 単価改定最終年＋0.54%・H31 消費税増税分＋0.39%
・措置費収入　～　現行単価による事務費・事業費（生活費・加算額等）を計上
・委託料収入　～　令和 2 年度帯広市予算の地域包括支援センター事業費等を計上

○　事業の推進に向けた支出経費
・人件費　～　常勤・パート職員の配置人数及び中途退職・採用見込人数等を勘案し計上
給料（定期昇給）・賞与（年 3.3～4.4 月）・各手当・社会保険料等
・事業費・事務費　～　経常的経費・臨時的経費・消費税や委託経費の増分等を勘案し計上
・借入金償還　～　福祉医療機構借入金（H25 西帯広施設）の償還額を計上
・固定資産取得　～　年次整備計画に基づき備品の更新・建物設備等の整備費を計上
財源は積立資産を取崩充当

②　適正な予算の執行及び目標

○　人件費率・概ね 63%以内（H30 決算 61.6%・全国平均 67%）
○　サービス活動増減差額率（営業利益）・概ね 2%（H30 決算 1.3%・全国平均 2.9%）
○　収支差率（当期活動増減差額比率）・概ね 3%（H30 決算 4.0%・全国平均 3.1%）
○　備品等購入積立金・施設整備積立金の年度末残高合計 1 億円以上（積立金の増額）

４　令和２年度・施設の運営計画等

Ⅰ　養護老人ホーム普仁園（特定施設普仁園）・短期入所生活介護施設

（１）施設の概要

○　現施設（H11 年 12 月・改築完成）　・特定（H29.4.1 外部サービス利用型を一般型に事業変更）

○　入所定員等　・養護及び特定（100 名）　・短期入所（2 名）　・部屋数（個室 102 室）

○　介護保険事業者指定有効期間

・特定（H30.9.27～R6.9.26）・短期（R2.4.1～R8.3.31）・予防短期（H30.4.1～R6.3.31）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2.3.31）の配置状況
施　設　長	常　勤 1 名	・常勤 1 名（特定施設管理者兼務）
施設次長	常　勤 1 名	・常勤 1 名（生活相談課長・主任生活相談員・特定計画作成兼務）
主任生活相談員 生活相談員 特定施設計画作成	（兼務 1 名） 常　勤 3 名 （兼務 3 名）	（施設次長兼務） ・常勤 3 名（うち特定施設計画作成担当兼務 2 名）
医務室統括課長 看護職員	（兼務） 常　勤 1 名（養護） 常　勤 3 名（特定） パート 1 名（特定）	（養護・特養両施設統括） ・常勤 1 名（看護師）養護 ・常勤 3 名（看護師 2 名・准看 1 名）特定施設 ・パート 1 名（准看）特定施設
機能訓練指導員	常勤 1 名（特定兼務）	・常勤 1 名（言語聴覚士）特定施設兼務
管理栄養士	常勤 1 名（特定兼務）	・常勤 1 名（特定施設兼務）
介護課長 主任支援員（養護） 支援員兼介護員 （夜勤専門）	常　勤 1 名 （兼務 1 名） 常　勤 24 名 パート 8 名 パート 1 名	・常勤 1 名（介護課長・介護福祉士）主任支援員・特定施設兼務 ・常勤 24 名（介護福祉士 16 名）養護 3 名・特定施設 21 名（育休 2） ・パート 8 名（介護福祉士 3 名）特定施設 ・夜勤専門パート 1 名（介護福祉士）特定施設
事務長 事務職員 技術員(ボイラー) 業務スタッフ	常　勤 1 名 常　勤 2 名 常　勤 2 名 パート 6 名	・常勤 1 名 ・常勤 2 名 ・常勤 1 名（ボイラー技士） ・パート 6 名 （事務専門員 1 名・技術員 1 名・売店業務 2 名・相談課補助 2 名）
合　　計	配置予定職員数 57 名 常勤 41 名・パート 16 名	配置職員数 56 名 常勤 40 名・パート 16 名

・常勤職員補充増員計画（技術員 1 名補充）

・各職種に欠員が生じた場合その都度採用（パート職員は必要に応じ随時採用）

・表記職員のほか補助スタッフ継続（高齢者・アルバイト）・障害者雇用促進法対象者 2 名（継続）

・嘱託医師 1 名（非常勤・おがわ循環器内科クリニック院長）

（３）職員の研修参加計画

①　北海道社会福祉協議会や関係機関団体等が実施する各種研修事業への参加（日程等未定）

② 虐待防止・介護等実践研修・腰痛予防研修（ヨガ研修）等外部講師による職員研修の実施

（４）施設の運営目標

① 特定施設普仁園の対象者・養護入所者 100 名のうち平均 85 名前後を想定

② 特定施設普仁園の年間稼働目標・月平均 96%

③ ショートスティ（定員 2 名）の年間稼働目標・月平均 60%

④ 特定施設・介護報酬に係る加算の取得継続

・夜間看護体制加算・看取り介護加算・サービス提供体制加算（介護福祉士 6 割以上）

・介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算・個別機能訓練加算

（５）業務等の取組み目標

① 生活相談課（生活相談員・計画作成担当者）

○ 養護入所者への対応

・入所者の意向に沿った処遇計画の作成及び調整等を図る

・他部署との円滑な連携を図るため調整機能の推進に努める

・必要なサービスを開発し自立の促進を図るための環境整備に努める

○ 特定施設対象者（要介護者）への対応

・特定施設サービス計画の作成及び調整等を図る

・能力に応じ自立した日常生活の支援等入所者に沿ったサービスの提供調整に努める

○ 家族への支援・協力体制

・家族への説明・連絡強化に努める

○ 業務の点検・見直し

・より良いサービスの提供を図る体制の整備に努める

② 介護課（支援員兼介護員）

○ 養護老人ホーム処遇計画及び特定施設サービス計画（ケアプラン）の遂行

・役割を認識しながら処遇計画やケアプランに基づく業務を遂行し目標達成に努める

・各階担当制を踏まえ入所者の日常生活の把握と共に業務等の見直しを図る

・入所者個々の環境に合わせた生活の工夫及び生活環境の配慮に努める

・苦情不満不安等は共感的姿勢で積極的に関わり生活相談員と連携し軽減に努める

・個別の排泄時間や間隔排尿量を定期的に計測しオムツ外し等の自立を図る

・入所者や家族職員間での挨拶や言葉使いなど好感のもてる接遇に努める

・季節に応じた行事・サークル活動・地域行事への積極的な参加・支援を図る

サークル活動（絵手紙・書道・手芸・カラオケ・クッキングクラブ等）

行事（花見・ショッピング・夏祭り・バーベキュー・家族デイ・菊まつり・観劇・居酒屋）

○ 事故・ヒヤリハットの対応

・速やかな報告と共に他部署と連携しながら原因の分析・対応策を検討する

・特に服薬事故等に関しては人身に関わる重大事案として改めて認識し服薬マニュアルの

再確認と実践の徹底に努めながら事故撲滅に向けて取り組む

○　職場体験実習やボランティア活動等に関し積極的な受入に努める

③　医務室看護課（看護職員・機能訓練指導員）

○　看護職員

・入所者の健康管理や通院業務・内服管理業務等の推進と共に適切な対応に努める

・感染症対策の推進を図る

～ インフルエンザワクチン予防接種（年１回）・肺炎球菌ワクチン（適宜）・職員研修の実施

・医療サービスの充実及び他部署との連携に努める

・終末期（看取り介護）においては嘱託医や医療機関等と連携を図りながら家族等への細やかな説明や対応に努める

○　機能訓練指導員

・入所者のケアプランに沿った機能訓練計画書の作成及び機能訓練の実施に努める

～ 体操サークルや認知課題サークルを通した残存機能の引き出しと認知面の維持向上

～ 食事評価を継続的に実施し適切な食事形態や摂取方法を検討

～ 口腔内の衛生管理と嚥下訓練の実施による誤嚥性肺炎の予防

④　給食課（管理栄養士）

○　給食業務委託業者の指導・連携及び衛生管理等の徹底に努める

○　入所者の栄養ケアや生活機能の維持改善を図るため家族等の同意を得ながら実施する

○　他職種との情報の共有・連携に努める

Ⅱ　特別養護老人ホーム愛仁園（短期入所生活介護施設）

（１）施設の概要

○　新施設開始（平成 11 年 4 月・改築完成）

○　入所定員（100 名）　・短期入所（18 名）　・部屋数（個室 30 室・2 人部屋 28 室・4 人部屋 8 室）

○　介護保険事業者指定有効期間

・特養／短期入所（R2.4.1～R8.3.31）　・介護予防短期入所（H30.4.1～R6.3.31）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2.3.31）の配置状況
施設長	常　勤 1 名	・常勤 1 名（あいじえん西帯広施設長兼務）
施設次長	常　勤 1 名	・常勤 1 名（介護支援専門員兼務）
生活相談課長 生活相談員	常　勤 1 名 常　勤 3 名 （介護支援専門員兼務）	（課長兼専任介護支援専門員） ・常勤 2 名（介護支援専門員兼務）
介護支援専門員	常勤 1 名（専任） （兼務 3 名）	・常勤専任 1 名（生活相談課長） （兼務 3 名　施設次長・生活相談員 2 名）
医務室統括課長 看護職員 看護補助員	常　勤 1 名 常　勤 5 名 常　勤 1 名	・常勤 1 名（看護師　養護・特養両施設統括） ・常勤 5 名（保健師 1 名・看護師 1 名・准看護師 3 名） ・常勤 1 名
機能訓練指導員	常　勤 1 名	・常勤 1 名（准看護師・あいじえん西帯広兼務）
管理栄養士	常　勤 1 名	・常勤 1 名（管理栄養士・あいじえん西帯広兼務）
介護課長 介 護 員 （夜勤専門） （食事補助）	常　勤 1 名 常　勤 44 名 パート 10 名 パート 4 名 パート 2 名	・常勤 1 名（介護福祉士） ・常勤 40 名（介護福祉士 25 名） ・パート 10 名（介護福祉士 2 名） ・夜勤専門パート 4 名（介護福祉士 1 名） ・食事補助パート 2 名
事務職員 技術員（ボイラー） 業務員	常　勤 2 名 常　勤 1 名 パート 1 名	・常勤 2 名 ・常勤 1 名（ボイラー技士） ・業務パート 1 名
合　　計	配置予定職員数 81 名 常勤 64 名・パート 17 名	配置職員数　75 名 常勤 58 名・パート 17 名

・常勤職員補充増員計画（生活相談員 1 名増員・介護支援専門員 1 名補充・介護員 4 名増員）

・表記職員のほか補助スタッフの継続（高齢者・学生アルバイト等若干名）

・各職種に欠員が生じた場合その都度採用（パート職員は必要に応じ随時採用）

・嘱託医師 1 名（非常勤・さかい総合内科クリニック院長）

（３）職員の研修参加計画

①　北海道社会福祉協議会及び関係機関等が実施する各種研修事業への参加

○　令和 2 年度参加予定研修（日程等未定）

・新任介護職員研修（経験年数 3 年未満介護員）　道内予定

・介護職員専門研修Ⅰ・Ⅱ（経験年数 3 年以上・5 年以上）　道内予定

・認知症介護実践研修（認知症介護経験 2 年以上）　道内予定
・虐待防止実践研修（介護職員等）　道内予定

②　外部講師等による職場研修の実施・充実を図る（特に虐待防止研修の見直し）

（４）施設の運営目標

①　施設入所者（定員 100 名）の年間稼働目標・月平均 95%

②　ショートスティ（定員 18 名）の年間稼働目標・月平均 60%

③　介護報酬に係る加算の取得継続

・日常生活継続支援加算・看護体制加算・夜勤職員配置加算・個別機能訓練加算
・栄養マネジメント加算・療養食加算・看取り介護加算・口腔衛生管理体制加算
・外泊時加算・初期加算・介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算

（５）業務等の取組み目標

①　基本的な取組み

○　入所者の生活を支える基本的ケアの充実
・入所者個々の要望や現在の機能を考えながら本人に則した自立支援のケアを組み入れる
・行事や個別の対応等入所者の楽しみを作り出すアイデアを多職種参加で考える
・介護事故の減少に向け全職員一体で取組むと共に誤薬等に対し重点的に取組む
・看取り希望の側と看取りを支える側の想いの共有を図る
・家族との連携（職員からの挨拶はもとより日頃の様子をこまめに伝える）

○　職場環境の改善等（職員全体での共有）
・介護機器（自動体位変換エアマット・介護リフト等）利用による業務の負担軽減
・業務の効率化を図るための業務内容の見直しや再検討
・基本的な接遇（挨拶・感謝の言葉・明るい笑顔等）を大切に働きやすい職場づくり
・様々な時間形態で働く仲間を大切にしながら情報等を共有した入所者ケアの充実

②　生活相談課（生活相談員・介護支援専門員）

○　居室訪問や家族･入所者との面談等を通した信頼関係の構築(コミュニケーションの充実)
○　ケアプランの作成及びケース会議の運営（関係職員との情報共有）
○　ベッド稼働率の向上（入所検討委員会による入退所の円滑な実施）
○　短期入所者（ショートステイ）の受入（家族・居宅介護支援事業所との連携）
○　緊急ショート等への対応（可能な限り調整）
○　入所時の契約・退所時の援助（重要事項やリスク等の丁寧な説明）
○　相談課会議の開催（毎月 1 回開催・情報共有等）
○　看取り支援（家族同意・24 時間連絡体制確保・居室環境整備・定期的ケアカンファレンス）
○　苦情・相談の受付及び解決

③　介護課（介護職員）

○　グループケアの充実と入所者一人ひとりに合わせた介護の実践に努める

○　自動体位変換エアマットレスや介助用リフト等を活用し入所者に安全・安心な介助の提供と介護職員の負担軽減に努める
○　感染症予防の徹底に努める
○　介護記録のシステム活用と情報共有及び各課との連携強化（報告・連絡・相談の体制構築）
○　入所者に則した行事等の見直しと法人全体行事への参加・協力を図る
○　委員会活動において事故防止も含めた入所者へのサービス提供方法の見直しや業務改善に向けての課題抽出と改善策等を多職種連携のもと積極的に行いサービスの向上に努める
○　新規採用職員や介護未経験者等における入職時の不安解消を図るため多職種連携による研修の実施と最低限必要とする知識や技術指導を行いながら職場への馴染みやすい環境を工夫することで職員の定着を図る

③　医務室看護課（看護職員・機能訓練指導員）

○　看護職員
・入所者等の健康管理の推進（疾病の早期発見・予防治療・緊急時の処置及び対応）
・看取り等に関し医師及び介護職員等と連携しながら家族へきめ細やかな説明に努める
・感染症対策の推進を図る
　～ インフルエンザワクチン予防接種（年１回）・肺炎球菌ワクチン（適宜）・職員研修の実施
・看護記録のシステム活用と情報の共有及び他部署との連携強化に努める
○　機能訓練指導員
・個別ニーズに沿った計画書作成と機能訓練を実施し定期的かつ状況に応じた評価に努める
　～ 姿勢の保持・上下肢運動・マッサージ・歩行・立位保持・趣味（ちぎり絵等）を取入れ実施

④　給食課（管理栄養士）

○　給食業務委託業者の指導・連携及び衛生管理等の徹底に努める
○　入所者の栄養ケアや生活機能の維持改善を図るため家族等の同意を得ながら実施する
○　他職種との情報の共有・連携に努める

⑤　その他

○　職場体験実習やボランティア活動の積極的な受入（車いす清掃・ちぎり絵等）
○　外出行事等の実施（花見・くだもの狩り・動物園・菊まつり・個別等）
○　施設行事への家族参加の促進（夏祭り・普れ愛家族デイ・個別外出等）

Ⅲ　デイサービスセンター愛仁園

（１）施設の概要

○　事業開始（平成 11 年 5 月）　　・利用定員（H16 年 4 月から 1 日 35 名・当初 29 名）

○　営業日数等（通常 361 日間・12 月 31 日～1 月 3 日を除く毎日）

○　サービス提供時間（6 時間 5 分・平成 30 年度 5 分延長変更）　・時間（9：45～15：50・延長可）

○　介護保険事業者指定有効期間　　・通所介護（R2.4.1～R8.3.31）

・介護予防/帯広市日常生活支援総合事業（R2.4.1～R8.3.31）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2.3.31）の配置状況
管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（生活相談員兼務）
生活相談員	常　勤 1 名 （兼務 2 名）	・常勤 1 名（社会福祉士） （兼務 2 名　管理者・介護員）
看護職員	常　勤 1 名 パート 1 名	・常勤 1 名（准看） ・パート 1 名（准看）
機能訓練指導員	（兼務・看護職員 2 名）	（兼務 2 名・看護職員）
介護職員	常　勤 10 名 パート 5 名	・常勤 10 名（介護福祉士 6 名・生活相談員兼務 1 名） ・パート 5 名（介護福祉士 1 名）
合　　計	配置予定職員数 19 名 常勤 13 名・パート 6 名	配置職員数 19 名 常勤 13 名・パート 6 名

・常勤職員補充増員計画（本年度なし）

・各職種に欠員が生じた場合その都度採用（パート職員必要に応じ随時採用）

・障害者 1 名（継続・障害者雇用促進法対象外）

（３）職員の研修参加計画

①　北海道社会福祉協議会やデイサービスセンター連絡協議会が実施する各種研修事業への参加

○　令和 2 年度参加予定研修（日程等未定）

・新任介護職員研修（経験年数 3 年未満介護員）　道内予定

・介護職員専門研修Ⅰ・Ⅱ（経験年数 3 年以上・5 年以上）　道内予定

・認知症介護実践研修（認知症介護経験 2 年以上）　道内予定

・デイサービス部会研修（介護職員等）　道内予定

・その他関係機関等が実施する専門研修への参加（生活相談員・看護職等）

②　法人内研修への参加の推進

（４）施設の運営目標

①　利用者（定員 35 名）の年間利用目標・月平均 80%（うち帯広市総合事業・30 %）

②　利用登録者数の調整（利用登録制の継続）

③　介護報酬に係る加算の取得継続

・サービス提供体制加算（介護福祉士５割以上）・介護職員処遇改善及び特定処遇改善加算

（５）業務等の取組み目標

①　令和２年度のスローガン

○　安心と安全をモットーに楽しく満足できるサービスを提供します

○　より良い職場環境づくりのため報連相を徹底します

②　通所介護サービス業務

○　ケアプランに基づくケアの実施及び通所介護計画への反映とサービス提供に努める

○　入浴に関し健康状態の事前確認など体調の変化に留意し安全実施に努める

○　食事（昼食）は栄養士と連携しながら個人の状態に合わせた食事形態に努める

○　個別アクティビティ（園芸・貼り絵・手芸・書道等）のほか集団レクリエーションや運動プログラム等（集団体操・ふまねっと運動・散歩等）の実施に努める

○　季節に合わせた外出行事等（花見・動物園等）の実施に努める

○　利用者の身体や生活情報等を共有し利用者事故（送迎・利用時間中）の未然防止に努める

③　その他

○　レスパイトケア（介護者の身体的・精神的負担の軽減）の推進を図る

○　利用者のＡＤＬ向上を目標に委員会（看護師・介護員・相談員）を毎月１回開催する

○　送迎車両における物損事故の撲滅と安全運転の励行に努める

Ⅳ　地域密着型介護老人福祉施設あいじえん西帯広

（１）施設の概要

○　事業開始（平成 26 年 3 月 20 日）　・入所定員（29 名）　・3 ユニット（個室 29 室・予備 1 室）

○　介護保険事業者指定有効期間（R2. 3. 17 ～ R8. 3. 16）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2. 3. 31）の配置状況
施設長	（兼務 1 名）	（特別養護老人ホーム愛仁園施設長兼務）
管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（小規模多機能型居宅介護あもる管理者兼務） （介護支援専門員兼務）
副管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（社会福祉主事資格・介護福祉士）
生活相談員	常　勤 1 名 （兼務 1 名）	・常勤 1 名（介護支援専門員） （兼務 1 名・副管理者）
介護支援専門員	（兼務 2 名）	（兼務 2 名　管理者・生活相談員）
看護職員	常　勤 2 名	・常勤 2 名（看護師 1 名・准看 1 名）
機能訓練指導員	（兼務 1 名）	（兼務・特別養護老人ホーム愛仁園配置　准看護師）
管理栄養士	（兼務 1 名）	（兼務・特別養護老人ホーム愛仁園配置　管理栄養士）
介護職員 （夜勤専門）	常　勤 17 名 パート 2 名 パート 1 名	・常勤 15 名（介護福祉士 12 名） ・パート 2 名（介護福祉士 1 名） ・夜勤専門パート 1 名（介護福祉士）
事務補助	パート 1 名	・パート 1 名
合　　計	配置予定職員数 26 名 常勤 22 名・パート 4 名	配置職員数 24 名 常勤 20 名・パート 4 名

・常勤職員補充増員計画（介護員 2 名増員）　・各職種に欠員が生じた場合その都度採用

・表記職員のほか介護補助スタッフの継続（アルバイト若干名）

・嘱託医師 1 名（非常勤・北海道医療団帯広西病院院長）

（３）職員の研修参加計画

①　北海道社会福祉協議会及び関係機関等が実施する各種研修事業への参加

○　令和 2 年度参加予定研修（日程等未定）

・新任介護職員研修（経験年数 3 年未満）　道内予定

・介護職員専門研修Ⅰ・Ⅱ（経験年数 3 年以上・5 年以上）　道内予定

・認知症介護実践研修（認知症介護経験 2 年以上）　道内予定

・虐待防止実践研修（介護職員等）　道内予定

・ユニットリーダー研修（ユニットケア施設・介護員職員等）　道内予定

・その他関係機関等が実施する専門研修への参加（介護支援専門員・看護職等）

②　法人内研修への参加の推進

（４）施設の運営目標

①　施設入所者（定員 29 名）の年間稼働目標・月平均 95%

② 介護報酬に係る加算の取得継続

・日常生活継続支援加算・看護体制加算・夜勤職員配置加算・介護職員処遇改善及び特定処遇改善加算

（５）業務等の取組み目標

① ユニット（光・温・楓）ケア

○ 入所者個人の生活習慣を尊重した時間による生活の支援に努める

・笑顔で真心を持ったおもてなし・食事や排泄入浴等快適な日常生活

・居心地の良い家づくりに努め地域の縁と輪をつないで行く

○ 施設での看取り介護に係る支援体制の整備を図る

○ 委員会活動の推進（事故防止委員会・排泄委員会等）を図る

○ 季節に応じた行事等の実施を図る

・夏祭り・敬老会・クリスマス会・餅つき・開設記念・誕生会・外出行事等

○ 職員一体となって誤薬事故を無くすることを目指す

② 地域に根差した事業運営

○ 運営推進会議を概ね２カ月ごとに開催する（委員６名・年６回程度）

○ 地域との交流推進（継続実施）

・体験学習及びボランティア活動の積極的な受入

・町内会行事への参加（植樹・夏祭り等）及び買物支援の協力

・地域交流の場としての施設の活用等

Ⅴ　小規模多機能型居宅介護あもる

（１）施設の概要

○　事業開始（平成 26 年 3 月 20 日）

○　登録定員及びサービス内容　　・登録定員 25 名（通い 15 名/日・宿泊 9 名/日・訪問）

○　介護保険事業者指定有効期間（R2.3.17　～　R8.3.16）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2.3.31）の配置状況
代表者	（兼務 1 名）	（特別養護老人ホーム愛仁園施設長兼務）
管理者	（兼務 1 名）	（地域密着型介護老人福祉施設あいじえん西帯広管理者兼務）
副管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（介護支援専門員・介護福祉士）
介護支援専門員	（兼務 1 名）	（兼務 1 名・副管理者）
看護職員	常　勤 1 名 パート 1 名	・常勤 1 名（准看） ・パート 1 名（准看）
介護職員	常　勤 9 名 パート 4 名	・常勤 7 名（介護福祉士 6 名） ・パート 3 名（介護福祉士 1 名）
合　　計	配置予定職員数 16 名 常勤 11 名・パート 5 名	配置職員数 13 名 常勤 9 名・パート 4 名

・常勤職員補充増員計画（介護員 2 名補充）　・各職種に欠員が生じた場合その都度採用

（３）職員の研修参加計画

①　北海道社会福祉協議会及び関係機関等が実施する各種研修事業への参加

○　令和 2 年度参加予定研修（日程等未定）

・新任介護職員研修（経験年数 3 年未満）　道内予定

・介護職員専門研修Ⅰ・Ⅱ（経験年数 3 年以上・5 年以上）　道内予定

・認知症介護実践研修（認知症介護経験 2 年以上）　道内予定

・虐待防止実践研修（介護職員等）　道内予定

・その他関係機関等が実施する専門研修への参加（介護支援専門員・看護職等）

②　法人内研修への参加の推進

（４）施設の運営目標

①　利用登録者（定員 25 名）目標・月平均 23 ～ 24 名

②　介護報酬に係る加算の取得継続

・総合マネジメント体制強化加算・サービス提供体制強化加算・看護職員配置加算

・介護職員処遇改善及び特定処遇改善加算

（５）業務等の取組み目標

①　自立支援

○　利用者が住み慣れた地域で生活を継続するため残存機能を活かした自立支援を図る

○　体操や歩行による機能訓練の支援を図る
○　地域交流の継続実施を図る
○　訪問歯科や訪問看護等の外部サービスの活用を図る
○　レクリエーションや外出等の企画・実行を図る
　・花見・菊まつり・収穫祭・敬老会・クリスマス会・餅つき・節分・開設記念・初詣等

②　地域に根差した事業運営

○　運営推進会議を概ね2カ月ごとに開催する（委員6名・年6回程度）
○　地域との交流推進（継続実施）
　・体験学習及びボランティア活動の積極的な受入
　・町内会行事や地域行事等への参加（植樹・夏祭り・西帯広まつり等）

Ⅵ　居宅介護支援事業所愛仁園

（１）施設の概要

○　事業開始（平成 12 年 4 月）　　・介護保険事業者指定有効期間（R2.4.1　～　R8.3.31）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2.3.31）の配置状況
管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（主任介護支援専門員）
介護支援専門員	常　勤 2 名	・常勤 2 名（主任介護支援専門員 2 名）
合　　計	配置予定職員数 3 名（常勤）	配置職員数 3 名（常勤 3 名）

・常勤職員補充増員計画（本年度なし）　・各職種に欠員が生じた場合その都度採用

（３）職員の研修参加計画

①　北海道社会福祉協議会及び福祉関係機関・団体が実施する専門研修等への参加に努める

（４）施設の運営目標

①　居宅介護支援費に係る給付管理　・給付管理件数（月平均 1 人 33 件・予防を含め 35 件）

②　特定事業所加算・Ⅲ（他の居宅介護支援事業所との共同研修会の開催）の取得継続

（５）業務等の取組み目標

①　ケアマネジメントの実施（在宅介護における援助等の相談）

②　居宅サービス計画の作成

○　利用者や家族の希望・課題分析結果に基づき介護保険サービス以外の福祉サービスや社会資源も念頭に居宅サービス計画書（１）（２）及び週間サービス計画を作成

○　利用者や家族等へサービス内容や利用料等を説明しサービスの選択及び書面による同意

○　サービス提供の実施状況把握と連絡調整

・定期的な利用者訪問及びサービス事業者と連絡をとりながら利用状況の把握に努める

○　モニタリングの実施及び課題分析（アセスメント）

○　連絡調整及びサービス担当者会議の開催

○　入院時のほか退院や退所時における医療機関等との連携強化

○　介護支援専門員の実務者研修及び研修生の受入

③　委託業務の受託

○　介護予防サービス計画の作成受託(介護予防支援事業所･地域包括支援センターより委託)

○　介護認定調査業務の受託（帯広市・他市町村より委託）

Ⅶ　地域包括支援センター愛仁園・介護予防支援事業所愛仁園

（１）施設の概要

○　センター開設（事業開始・平成 18 年 4 月）

○　帯広市委託業務担当地区　　・広陽/若葉日常生活圏域　・西帯広/開西日常生活圏域

○　介護保険事業者指定有効期間　　・介護予防支援事業所（H30.4.1 ～ R6.3.31）

（２）職員の配置予定人数

職　種　等	配置予定人数	前年度末（R2.3.31）の配置状況
センター長兼管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（保健師・介護予防支援事業所管理者）
副センター長兼副管理者	常　勤 1 名	・常勤 1 名（主任介護支援専門員・介護予防支援事業所副管理者）
専門職員	常　勤 8 名	・常勤 8 名（介護予防支援事業所兼務） （保健師 1 名・社会福祉士 2 名・主任介護支援専門員 2 名 ・介護支援専門員 3 名）
認知症地域支援推進員	常　勤 1 名	・常勤 1 名（専任・精神保健福祉士）
地域支え合い推進員	（兼務 1 名）	（兼務・専門職員 1 名）
事務補助員	パート 1 名	・事務パート 1 名
合　　計	配置予定職員数 12 名 常勤 11 名･パート 1 名	配置職員数 12 名 常勤 11 名・パート 1 名

・常勤職員補充増員計画（本年度なし）　・各職種に欠員が生じた場合その都度採用

・障害者雇用促進法対象者 2 名（継続）

（３）職員の研修参加計画

①　行政等関係機関及び福祉関係団体等が実施する専門研修等へ参加（道内・道外等）

（４）センターの運営目標

①　介護予防支援事業所の事業推進

○　介護予防支援費に係る介護予防サービス計画の作成・支援（月平均・510 件）

・帯広市介護予防日常生活支援総合事業　　・月平均　280 件

・介護予防支援（日生活支援総合事業除く）　・月平均　230 件

②　地域包括支援センター業務の推進（帯広市委託業務）

○　帯広市委託料　４８，２７６千円（前年度 47,914 千円）

・地域包括支援センター事業 39,245 千円・認知症総合支援事業 5,281 千円

・在宅医療介護連携推進事業 250 千円・第 2 層生活支援コーディネート業務 3,200 千円

・地域包括支援センター機能強化（新規）　地域ケア会議実績加算 300 千円（1 回 20 千円）

（５）業務等の取組み目標

①　総合相談支援業務

○　地域に住む高齢者に関する様々な相談の受付

○　一人暮らし高齢者の登録訪問活動・寝たきり、認知症高齢者の訪問活動

②　権利擁護業務

○　成年後見制度の活用（判断能力を欠く状況にある人への支援）

・帯広市成年後見支援センター（みまもーる）など関係機関との連携

○　高齢者虐待の防止及び対応等（相談・協議等）

○　消費者被害防止に関する支援等（相談・協議等）

○　支援が難しい事例への対応（関係機関・帯広市との連携）

③　包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○　ケアマネジメント体制の構築（事例検討会や地域ケア会議の開催等）

○　在宅及び施設等のケアマネジャーへの支援

・助言・同伴訪問・カンファレンス出席・ケースの検討・ケアマネジャー研修等

④　介護予防ケアマネジメント業務

○　介護予防事業に関する支援（介護予防サービス計画の作成及び委託等）

○　帯広市介護予防・日常生活支援総合事業対象者への支援

○　生活支援介護予防サービス体制等への協力（生活支援サービスに関わる協議体へ参加）

○　生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）との連携・協力

⑤　認知症に関する支援業務

○　正しい知識の普及啓発と予防対策の推進

・認知症サポーター養成講座の実施推進（職域・学校等）

○　相談支援体制等の推進

・認知症カフェの実施支援・徘徊模擬訓練の支援・認知症支援スキルアップ研修の支援等

○　医療・介護との連携（認知症疾患医療センターや医療機関との連携）

⑥　その他の関連業務

○　普及啓発活動

・地域包括支援センターの説明・介護予防に関する出前講座の実施

・独自企画（いきいき元気塾）の実施推進（高齢者の権利擁護等をテーマ）

○　帯広市家族介護者リフレッシュ事業の実施（年 2 回予定）

○　実習生（社会福祉士）等の受入

○　地域密着型介護施設運営会議への協力・支援（運営推進委員の派遣）

○　研修等の講師派遣

○　在宅医療介護の連携に係る相談支援